

科目番号	20	科目名	古典文学講読Ⅱ	
英文科目名				
大学・短期大学名	滋賀文教短期		大学	
連絡先	滋賀文教短期大学 学務課 教務係			
	TEL :	0749-63-5815	FAX :	0749-65-1921
担当教員	池田 大輔		(国文学科 教授)	
実施方法	対面授業		遠隔授業 対面・遠隔併用	
教室名	本館2階 204教室	会場	滋賀文教短期大学	
授業期間	2024 年 9 月 20 日 (金) ~ 2024 年 12 月 27 日 (金) <毎週 金曜日> 4 時限・講時 14 : 35 ~ 16 : 05			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験 (筆記)	55		%
	レポート試験 (期末)			%
	平常点 (出席・授業態度)			%
	その他 (リアクションペーパー)	45		%
別途負担費用	なし		あり () 円	
その他特記事項	<p><授業形態> 新型コロナウイルスの拡大状況により、対面授業が遠隔授業に切り替わる可能性があります。</p> <p><欠席連絡> 欠席連絡については、滋賀文教短期大学 学務課教務係(0749-63-5815)までご連絡ください。</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔講義の場合は、「Google Meet」を使用したリアルタイム型となります。 ・「古語辞書」(電子辞書も可)を用意すること。 ・「授業での取り組み」では、Google Classroom内「リアクションペーパー」各3点×15回=45点として評価します。 ・定期試験採点后、希望者には答案用紙の返却を行います。 ・オフィスアワー：別途連絡 ・各回の授業テーマは、シラバス内授業計画表の鍵括弧(「 」)内のものとなります。 			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】				
江戸時代後期に十遍舎一九が作・画を手がけた『的中地本問屋』(あたりやしたじほんどいや)を扱います。この作品を通して、江戸時代の出版事情、文化、文字、表現、笑いについて講義します。				
出版当時の本文を印刷したもの(影印)を使用して、変体仮名の解説、それをもとに古語辞書等を用いて、本文解釈を行い、丁寧に内容を「読む」ことを重視します。				
また、授業形式は、「リアクションペーパー」をもとに、受講者同士の考えや意見を共有しディスカッションを行うPBL(課題解決型学習)です。				
【到達目標】				
1. 適切な古語辞書等を用いて本文を解釈し、内容を理解し、自らの考えを意見することができる。				
2. 江戸時代の出版事情や出版方法の知識を習得し、説明することができる。				
3. 近世の資料に用いられる変体仮名と漢字の一部が解説できる。				
4. 他者の考えを踏まえ、自分の考えを踏まえ、ディスカッションの展開ができる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9 月 20 日	ガイダンス&『的中地本問屋』の解説(1丁表)「江戸時代の暦法について」		
2	9 月 27 日	『的中地本問屋』(1丁裏・2丁表)「戯作者と板元について<前半>」		
3	10 月 4 日	『的中地本問屋』(1丁裏・2丁表)「戯作者と板元について<後半>」		
4	10 月 11 日	『的中地本問屋』(2丁裏・3丁表)「彫師について<前半>」		

5	10月18日	『的中地本問屋』(2丁裏・3丁表)「彫師について〈後半〉」
6	10月25日	『的中地本問屋』(3丁裏・4丁表)「摺師について〈前半〉」
7	11月1日	『的中地本問屋』(3丁裏・4丁表)「摺師について〈後半〉」
8	11月8日	『的中地本問屋』(4丁裏・5丁表)「丁合について〈前半〉」
9	11月15日	『的中地本問屋』(4丁裏・5丁表)「丁合について〈後半〉」
10	11月22日	『的中地本問屋』(5丁裏・6丁表)「切りについて〈前半〉」
11	11月29日	『的中地本問屋』(5丁裏・6丁表)「切りについて〈後半〉」
12	12月6日	『的中地本問屋』(6丁裏・7丁表)「表紙掛けについて〈前半〉」
13	12月13日	『的中地本問屋』(6丁裏・7丁表)「表紙掛けについて〈後半〉」
14	12月20日	『的中地本問屋』(7丁裏・8丁表)「綴じについて〈前半〉」
15	12月27日	『的中地本問屋』(7丁裏・8丁表)「綴じについて〈後半〉」

<教科書・参考書>

<教科書>

・講義資料は、資料はA3サイズです(最初の講義時に配布します)。

<参考書>

- ・『菱川師宣と浮世絵の黎明』浅野秀剛、東京大学出版会、2008年、6,380円(本体)
- ・『菱川師宣—古風と当風を描く絵師—』阿美古理恵、藝華書院、2020年、7,070円(本体)
- ・『原色浮世絵大百科事典』第3巻、大修館書店、1982年